

地域密着金融の取組み状況について (平成29年4月～平成30年3月)

こうぎん・ビビッド・ファンド分野別実行内訳(平成29年度) 単位:百万円

分 野	件 数	実行金額
①研究開発	51	4,239
②環境・エネルギー事業	102	9,911
③医療介護健康関連事業	46	3,096
④高齢者向け事業	3	360
⑤観光事業	20	1,147
⑥農林水産業・農商工連携事業	38	1,405
⑦防災対策事業	10	1,907
⑧食料品加工・製造関連事業	28	1,858
合計	298	23,926

◇こうぎん産学連携ファンドの推進

- 高知県内の大学等と事業者との連携強化による事業展開を支援する取組みとして、高知県内の大学等が保有する特許、研究成果を活用し創業・新事業の展開を目指す事業者を支援する「こうぎん産学連携ファンド」を平成26年10月に創設し、取り扱いを開始しました。平成30年3月31日現在までの累計実績は、8件55百万円となっております。
- 今後も、連携協定を締結している高知県内の高等教育機関および高知県産学官民連携センター等と連携し、共同研究の機会創出や各機関の研究成果等に関する情報交換や支援などを通じて、地域経済の発展に貢献できるような様々な取組みを実践してまいります。

◇こうぎん地域ブランド応援融資の推進

- 地域商標・地域産業資源・地域アクションプラン認定等関連事業者を対象とし、地域の産業振興ならびに活性化に貢献していくことを目的とする「こうぎん地域ブランド応援融資」を推進しております。
- 平成29年度の融資実績は70件1,175百万円で、そのうち地域アクションプラン認定事業または付随事業に従事する事業者への融資実績は29件450百万円となっています。



ご利用いただける方 ①～③のいずれかの事業を営んでいる、またはこれから事業をはじめようとする当行の営業区域内における法人・個人

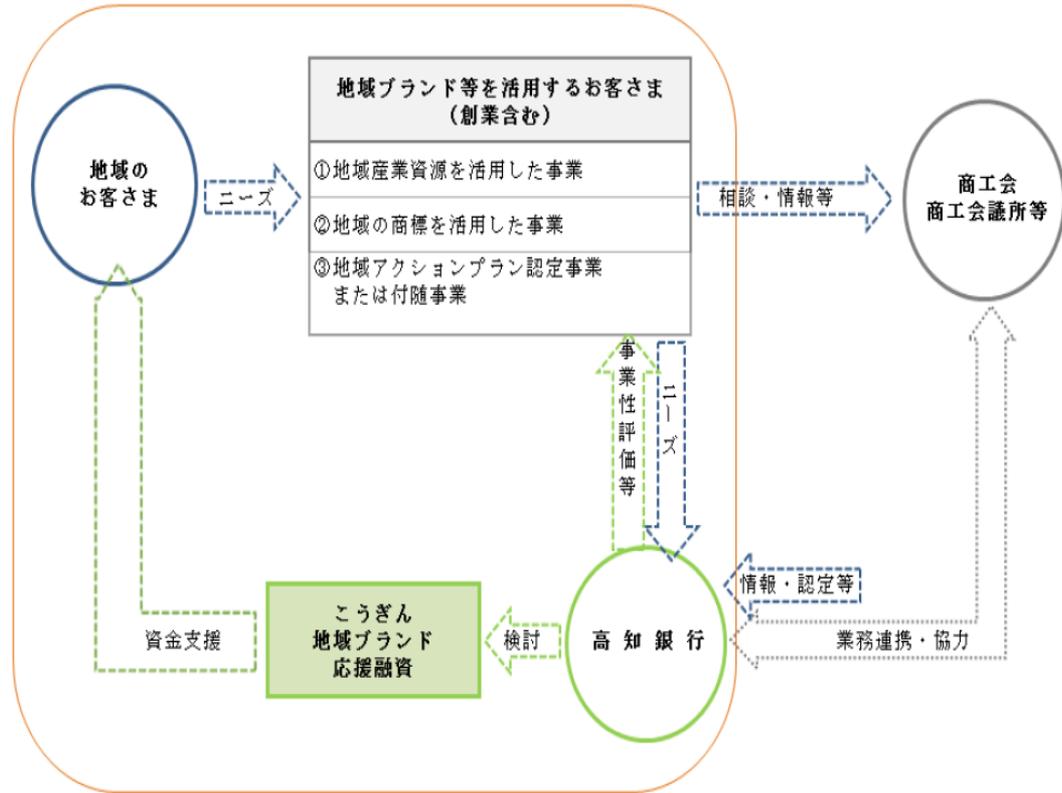
① 中小企業地域資源活用促進法に基づき、都道府県が指定している地域産業資源を活用した事業
 ② 地域の商標を活用した事業
 ③ 高知県産業振興計画の地域アクションプランの認定事業またはそれに付随する事業

ご融資金額 5,000万円以内
 ご融資期間 ① 運転資金：1年以上10年以内(元金返済開始月は原則1年以内)
 ② 設備資金：当行所定の基準額を超過しない限り、元金返済開始月は原則1年以内とし、設備計画に基づくものとします

ご返済方法 元金均等または元利均等返済
 保証人 親族等または信用保証協会による保証が所望です
 担保 当行所定の審査によります。

ご利用いただくもの
 ●個人 原則として税務申告書3期分
 ●法人 原則として決算書3期分、登記事項証明書
 ●高知県産業振興計画に基づく地域アクションプランに携わっている方 ▲0.2%
 ●地域の商標を利用される場合、該当機関に認定を受けた方 ▲0.3%

あしたを元気にヒビッドバンク
高知銀行
 高知市本町1-1-1
 TEL 087-821-1111
 FAX 087-821-1112
 高知支店
 高知市本町1-1-1
 TEL 087-821-1111
 FAX 087-821-1112
 高知支店



◇ビジネスマッチング等への取り組み

- 地産外商支援の取り組みとして、各種商談会の共催や出展支援などを通じたお取引先の新たな販路の開拓等のサポートに取り組んでおります。平成29年6月に開催された第二地方銀行協会加盟行が主催する「『食の魅力』発見商談会2017」へは、お取引先企業20社に出展いただき、販路拡大につながる取り組みとなりました。また、平成28年3月に南日本銀行・東山口信用金庫・幡多信用金庫・佐賀共栄銀行と締結した「薩長土肥包括連携協定」に基づく協働事業として「薩長土肥首都圏バイヤー商談会2018」を平成30年1月に開催し、当行から10先のお取引企業等が参加しました。さらに、平成30年2月に開催された「スーパーマーケット・トレードショー2018」、平成30年3月に開催された「FOODEX JAPAN2018」では、高知県企業延べ81社の出展支援を行い、多数の商談が継続されております。

食の魅力商談会2017



薩長土肥首都圏バイヤー商談会2018



◇ビジネス情報ネットワークの活用

- 平成25年3月より、お客さまのさまざまなニーズを集約したビジネス情報ネットワークを行内に構築し、ビジネスマッチング等のコンサルティング機能を強化しております。平成29年度のビジネスマッチングの成約先数は176先となりました。

◇産学官の連携による地域貢献

- 地域経済の活性化と地域社会の発展に貢献していくことを目的とした連携協力協定を高知県内の4つの高等教育機関（高知大学、高知工業高等専門学校、高知県立大学、高知工科大学）と締結しており、各機関の得意分野を活かした人材の育成、技術相談などを通じて、地域の発展に貢献できるよう様々な取り組みを実践しております。
- 技術相談等のニーズにお応えしていくため、高知工業高等専門学校との共催による「高知高専・高知銀行連携シーズ発表会」を平成18年より毎年開催しており、平成30年12月に第13回目を開催いたしました。研究技術の発表に対する参加企業からの熱心な質問があり、個別相談会も開催するなど、毎回、参加者にご好評をいただいております。企業との共同開発が進展している商品もあります。
- また、「こうぎん産学連携ファンド」の活用を通じて、事業者が県内の高等教育機関と研究開発を行う際に必要な資金調達の支援を行っており、これからも産学連携の仲介役として、地域の活性化に向けた取り組みを継続してまいります。

第12回シーズ発表会

○高知高専連携シーズ発表会

- 平成30年12月3日に当行本店5階大会議室で開催いたしました。
- 今回「魚類ストレス状態の可視化」ほか3種類の研究シーズが発表され、地元26企業・事業者33名にご参加いただき、情報交換、個別相談等が行われました。ブリの海面養殖業者が、陸上養殖の取り組みを検討しており、今後高専と情報交換をしていきたい等、前向きな動きもあった。



プログラム PROGRAM

- 13:00 受付
- 13:30 開会挨拶
- 13:40 高知高専シーズ発表 (各発表15分・質疑5分)

○テーマ：県内ニーズに応える食品・防災関連分野

所属・職名	氏名	発表題目	キーワード	概要
ソーシャルデザイン工学科・助教	大角 理人	文旦や柚子などの柑橘系外皮に着目した未利用資源の活用開発	柚子、文旦、柑橘系、再資源化	高知県では柑橘系である柚子や文旦の栽培が盛んで、とくに全国一位の生産量となっている。それと同時に、非食部分であるそれらの外皮が大量に廃棄されているという現状がある。資源循環の観点から柑橘系外皮を廃棄するのではなく、新しい資源に再生することが望まれている。本研究では柑橘系外皮から繊維を取り出し糸を製造し、その糸を自分を取り出しエコソーシャルイテムを作りだすことに成功している。今回はこれらの研究成果の一部を紹介する。
ソーシャルデザイン工学科・准教授	宮田 剛	魚類ストレス状態の可視化に関する研究	陸上養殖、魚類ストレス、生体光計測、カオス解析、ディープラーニング	近年、魚類の海上養殖では、養殖魚の餌や糞便などの堆積による汚染が深刻化しており、魚病発生や赤潮等が頻発し、水産業に大きな被害を出し続けている。安全な食品確保の観点から、飼育管理をシステム化できる陸上養殖の検討が進んでいる。陸上養殖では魚類のストレス状態、延いては健康状態をリアルタイムに把握し、持続的に健康状態を維持しながら感染症などの病害発生を阻止し、飼料転換効率を向上させる必要がある。このような要求において、本研究室では、水槽の外から魚の健康状態を非侵襲的に生体モニタリングする技術を提案した。これまでに学会発表や特許出願をしてきた。今回は、その研究成果の一部を紹介する。
ソーシャルデザイン工学科・准教授	近藤 拓也	目で見えるコンクリート構造物の健全診断法(健全度評価法)の検討・開発	コンクリート構造物、ひび割れ、健全度評価	コンクリート構造物の健全度を評価するための調査手法については、各種検査、装置の開発などにより、目視できないものがある。しかし、大量のコンクリート構造物の健全管理を効率よく行うためには、コンクリート表面のひび割れを認識する方法が一番有効である。本研究では、特に目視による状態確認が難しいとされるPC構造物の横方向ひび割れの発生原因について研究を行っており、一部は構造物管理者の参考資料として活用されている。今回は、その研究成果について発表を行う。

14:40 閉会挨拶 終了

終了後 高知高専教員による個別技術相談

- 併設 INPIT高知県知財総合支援窓口 14:00～14:40 (一般社団法人 高知県発明協会)



高知高専・高知銀行連携 第13回シーズ発表会 参加申込書 株式会社高知銀行 地域連携ビジネスサポート部 仁井田 行幸
TEL: 088-871-1302 FAX: 088-871-7124 E-mail: m-niida@kochi-bank.co.jp

企業名	TEL	高知銀行 駐車場を利用
ご参加者名 (姓・名)	()	する
ご参加者名 (姓・名)	()	しない

個人情報の利用について：……………
本書面のご記入にあたって取得した個人情報につきましては、高知銀行と高知工業高等専門学校との連携協力協定に関する事項以外に使用することは一切ありません。また、情報の管理につきましては、高知銀行、高知工業高等専門学校において適切に管理します。

更なる技術を追い求め、未来への扉を開け！

第13回 高知高専・高知銀行連携

シーズ発表会

13th SEEDS PRESENTATION

日程 平成30年12月3日(月)
13:00～受付 13:30～開始
申込締切日: 11月29日(木)

会場 高知銀行本店 5階ホール
(高知市堺町2-24)

■問合せ・申込み
株式会社高知銀行 地域連携ビジネスサポート部
TEL: 088-871-1302 FAX: 088-871-7124 E-mail: m-niida@kochi-bank.co.jp

■主催
株式会社高知銀行、高知工業高等専門学校、一般財団法人 高経地域経済振興財団

ソーシャルデザイン工学科・准教授	宮田 剛	魚類ストレス状態の可視化に関する研究	陸上養殖、魚類ストレス、生体光計測、カオス解析、ディープラーニング	近年、魚類の海上養殖では、養殖魚の餌や糞便などの堆積による汚染が深刻化しており、魚病発生や赤潮等が頻発し、水産業に大きな被害を出し続けている。安全な食品確保の観点から、飼育管理をシステム化できる陸上養殖の検討が進んでいる。陸上養殖では魚類のストレス状態、延いては健康状態をリアルタイムに把握し、持続的に健康状態を維持しながら感染症などの病害発生を阻止し、飼料転換効率を向上させる必要がある。このような要求において、本研究室では、水槽の外から魚の健康状態を非侵襲的に生体モニタリングする技術を提案した。これまでに学会発表や特許出願をしてきた。今回は、その研究成果の一部を紹介する。
------------------	------	--------------------	-----------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

高知の食文化『鰹』 資源を守るために・・・

高知カツオ県民会議

第3回 シンポジウム

日時

7月24日 火

15:30~18:00(開場/15:00)

場所

高新文化ホール
(高知新聞放送会館東館・7階) 入場無料

内容

基調講演
「西部太平洋におけるカツオの南北回遊」
パネル討論
「カツオ資源を考える」

お申し込み(一般)

入場ご希望の方は、ファックスまたはメールで
氏名 ● 年齢 ● 住所 をご記入の上、お申し込みください。

お問い合わせ 高知カツオ県民会議事務局 TEL.088-856-6289 (※高知広告センター内)

【主催】 高知カツオ県民会議

高知カツオ県民会議 検索
www.kochi-katsuo.com



高知カツオ県民会議 シンポジウム

ごあいさつ



尾崎 正直

高知カツオ県民会議会長 | 高知県知事

高知カツオ県民会議第3回シンポジウムが、多くの皆様のご尽力のもと開催できますことを、心から感謝申し上げます。カツオ資源に対する危機感を共有する有志によって平成29年2月に発足いたしました「高知カツオ県民会議」は、これまでに2回のシンポジウムを開催し、カツオ資源を取り巻く問題や今後の県民会議の方向性を多くの県民の皆様と共有してまいりました。

また、昨年12月には、フィンランドで開催された国際的な資源管理の議論の場である、中西部太平洋まぐろ類委員会の年次会合に参加し、県民会議の活動をアピールするとともに種族的なローブ活動を行ってまいりました。

一方、こうした活動に加えて、当県民会議ではカツオ文化の日本遺産認定に向けた活動に着手したところです。本県に受け継がれているカツオにまつわる文化と地域の歴史的動力や特色を織り交ぜたストーリーを日本遺産として登録し、カツオ文化を後世まで伝えるとともに、カツオ資源の持続的な利用を目指してまいります。

本日のシンポジウムでは、日本近海と太平洋南部とのカツオ資源の関係についての基調講演と、県民の皆様身近なカツオ製品についてのパネル討論などとしてカツオの資源問題や消費に関する議論を深めたいと考えております。

今後も、「高知カツオ県民会議」の活動を通じ、カツオ資源の管理の強化と資源の回復が実現するよう、皆様とともに取り組んでまいります。

プログラム

- 15:30 開会
- 15:32 開会挨拶・高知カツオ県民会議の取り組みについて
受田 浩之 高知カツオ県民会議会長代理 | 高知大学副学長
- 15:45 会長挨拶
尾崎 正直 高知カツオ県民会議会長 | 高知県知事
- 15:50 基調講演「西部太平洋におけるカツオの南北回遊」
 講師/二平 章 (にひら・あきら)
茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター客員研究員
カツオの資源生態・文化誌研究者
【プロフィール】
□1948年茨城県大子町生まれ、北海道大学水産学部卒業後、茨城県水産試験場専任で長く研究生活。
□カツオ・カレイ・シロヒメ・アコウコウジなどの生態、資源管理などについて研究、特に、
茨城県産カツオ資源に関する博士の論文「カツオの回遊」を発表し、以来40年間カツオの資源生態、
文化研究に取り組んでいる。
□2001年、カツオの資源生態学研究所で茨城県立大学学芸員就任。
□現在、茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター客員研究員、北日本漁業経済学会会長、
日本カツオ学会役員
□全国水産物産物産協会常務会長も務めており、資源管理や地域振興を切り、食文化を大切にしようとする活動やイベントの企画運営で取り組んでいる。
- 16:50 休憩
- 17:00 パネル討論「カツオ資源を考える」
ファシリテーター
受田 浩之 高知カツオ県民会議会長代理 | 高知大学副学長
パネリスト
二平 章 茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター客員研究員
竹内 太一 情報発信分科会副会長 | 柳土佐料理 可代表取締役社長
福田 仁 高知新聞 報道部
- 18:00 閉会

(個人情報の取り扱いについて) ●お名前以外の個人情報は、本事業にのみ利用いたします。●利用目的に際して、不要になった個人情報は速やかに削除いたします。

(一般の方は下記にご記入の上、お申し込みください。) FAX:088-856-6292

高知カツオ県民会議 第3回シンポジウム

F A X 申込書	氏 名		年 齢	歳
	住 所			

黒潮町(旧:佐賀町+大方町)の取り組み



日本遺産シンポジウム

黒潮町

カツオ文化日本遺産を目指して

日時 平成31年1月12日(土) 10時から12時

場所 黒潮町総合センター大会議室

目的 カツオ文化日本遺産登録に向け、カツオにかかわりの深い地域住民を中心に制度の概要や今後の取り組みについて理解を深めるとともに、登録に向けた推進の議決を図ります。

プログラム 挨拶 高知カツオ県民会議 受田浩之
黒潮町長 大西勝也

基調講演 「体験・体感・日本遺産」

講師 杉浦久弘氏



杉浦久弘氏

講師紹介

文化庁審議官
《旧》内閣官房副長官補付
《新》内閣官房内閣審議官
東京大学法学部卒
昭和41年10月生

トークセッション 「土佐のカツオ文化と日本遺産」

杉浦久弘氏、境好美氏、受田浩之、福田仁 司会 岡村健志

募集範囲 町内産産業関係者、WG構成市町村内の関係者、

WGメンバー、カツオ県民会議

定員 200人(申し込み不要)

共催 高知カツオ県民会議(予定)、カツオ文化日本遺産認定推進WG